

令和6年度 地歴公民科 「地理総合」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年A～G組
教科書	わたしたちの地理総合（二宮書店）	副教材等	新編フォトグラフィア地理図説（とうほう）

1 学習の到達目標

社会的事象に問いを立て、地理的な見方・考え方を活用しながら、課題解決を追究する。
 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に実存し、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	地理への誘い	地理総合とは何か、学ぶとは何か リベラルアーツの世界	学問は対話とプレストから始まります。	授業におけるパフォーマンス 提出物 定期考査（全4回）
	5	世界の課題 日本の課題 SDG s	世界の課題・日本の課題 SDG s をクリティカルシンキング ☆単元を通して、対話とブレインストーミングを学びます。	深掘りテーマ① 「混沌とする国際情勢 暴力による解決は当たり前のことなのか」 深掘りテーマ② 「地域の課題発見と地域調査の進め方」 深掘りテーマ③ 「グループ対話でSDG s をクリティカルシンキング」	
			第1回考査		
	6	現代社会の喫緊課題 資源 エネルギー	エネルギー（電気）を考える。 原発の是非を考える 再生可能エネルギーを考える。 最適エネルギーミックスを考える ☆文献や公的データの調査・引用を学びます。 ☆小グループでのアウトプットを経験します。	なぜCO ₂ は悪役になったのか。 世界と日本の電力の現状…レクチャー形式 グループ学習で電気を深掘り…協働学習 個人別深掘りテーマ ①石炭火力発電 ②原子力発電ポジティブ派 ③原子力発電ネガティブ派 ④太陽光発電 ⑤風力発電 ⑥バイオマス発電 調査内容は班内共有します。 私の考える最適エネルギーミックス	
	7	GISと防災	GISを使いこなす。 ハザードマップを分析する。 （ICT調査を学びます）	地理院地図とGoogleマップ GISで難関大学入学 GISで世界遺産巡り 佐倉市ハザードマップ（紙）分析 あなたの街のハザードマップ（GIS）活用	
	8				
	9				
			第2回考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	防災 災害史 防災対策	協働研究で災害の歴史と防災対策を学びます。 班別に調査を深めスライドにまとめます。 クラス全体にスライド発表し学びを共有します。 ☆調査・考察・スライド作成・プレゼン……一連の探究スキルを学びます。	班別深掘りテーマ（例） 関東大震災 阪神淡路大震災 東日本大震災（三陸津波編） やさしい防災英会話 避難所生活の困りごと ペットと防災 日常の防災対策 御岳山噴火 普賢岳火砕流 いつくる「富士山噴火」 いつくる「南海トラフ大地震」 能登地震と避難所生活	授業パフォーマンス 提出物 定期考査（全4回）
	11	データサイエンス 人口 食糧 少子化問題	データサイエンスの世界 データ解析を通して、 過去・今・将来を俯瞰します。 （データの解析能力を高めます）] 第3回考査	深掘りテーマ 人口・食糧・少子化 データの見つけ方と選別 データ解析能力を身に着けます。 課題の将来予測と対策を話し合います。	
	12	Global 世界の衣食住	世界各地の衣食住を学びます。 個人調査・グループ発表スタイル 各自一か国を深掘りします。 ☆アウトプットはポスター形式	キーワードは「伝統」「ユニーク」 学習形態は個人調査 代表的な衣食住トピックを調査します。	
	1 2 3	Global 国際紛争 難民 移民 在留資格	深掘りテーマ：EUを事例に 国際紛争の要因と平和構築 難民の発生原因と対策 日本の在留資格と課題 （グローバルな問いを深掘り） 第4回考査	複数の紛争事例を深掘りします。 なぜ人類は争うのか、哲学します。 平和構築の難しさを哲学します。 世界と日本の難民政策を学びます。 日本の移民政策を学びます。 日本の移民・難民政策を哲学します。	

3 評価の観点

知識・技能	世界の生活文化の多様性を理解する。環境、資源、文化、防災、地域、SDGs など諸課題を理解する。 地図や地理情報システムなどを用いる技能を身に付ける。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、社会の諸課題を多面的・多角的に考察する。 地理的な課題の解決に向けて構想する力、発表する力、議論する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を養う。 自分と自分の郷土に対するアイデンティティを養う。

4 評価の方法

定期考査、提出物、授業パフォーマンスを3観点の視点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

「主体的な学び」とは何か、問うてください。
主体的に学問に取り組むマインドセットを身に付けてください。 **知之者不如好之者 好之者不如樂之者**